

# 平成24年度事務事業評価シート

取組みコード	21224
区分	補助金・交付金
担当課	消防防災課
作成日	平成24年5月18日
事業名	消防団運営費補助金
開始年度	
予算科目	8.1.2.3.3

## 1. 事業の概要

総合計画での位置づけ	
部	第2部 安全で安心して暮らせるまちづくり
章	第1章 災害対策と安全対策
節	第2節 消防・救急体制の充実
基本施策	2 消防体制の充実
取組みの基本方向	(4) 消防団組織のあり方を検討するとともに、消防団のPRを行い、消防団員の安定的な確保をはかります。
根拠法令等	消防組織法第1条・第6条～第9条
目的 (誰・何を対象に、何のために)	消防は、その施設及び人員を活用して、国民の生命、身体及び財産を火災から保護するとともに、水火災又は地震等の災害を防除し、及びこれらの災害に因る被害を軽減することを目的とする。
内容・方法 (何をやっているのか)	【消防団の役割】 ①火災の鎮圧に関する業務、②火災の予防及び警戒に関する業務、③救助に関する業務、④地震、風水害等の災害の予防、警戒、防除等に関する業務、⑤地域住民等に対する協力、支援及び啓発に関する業務、⑥消防団の庶務の処理等の業務、⑦その他地域実情に応じた業務

## 2. 指標(事業の成果・活動内容等を数字で表します)

本事業が属する総合計画の節の成果指標		指標名		平成21年度	平成28年度		
		『消防・救急体制の充実』について「満足」と感じる住民の割合(%)		54.3	57.0		
指標の名称(単位)	増減	指標の説明	項目	基準年度(H22年度)	平成22年度	平成23年度	平成24年度
成果指標	増	消防団組織のあり方を検討し、消防団員の安定的な確保を図る	計画値	/	231	231	231
			実績値	217	217	216	
			達成度※自動計算	/	93.9	93.5	
活動指標		本事業に関して町が行う活動の最たるものが補助金の予算確保であるため、町の活動の指標として設定するもの。計画値は過不足なく予算を確保した状態(=100%)とした。	計画値	/	100.0	100.0	100.0
			実績値	100.0	100.0	100.0	
			達成度※自動計算	/	計測不能	計測不能	計測不能

※ 増減欄は、指標の値について、増加が望ましい場合に「増」、減少が望ましい場合に「減」を記入する。

## 3. 事業費の推移と財源内訳

(E) 平均人件費(円/年) 8,300,000

年度		基準年度(決算) (H22年度)	平成22年度(決算)	平成23年度(決算見込)	平成24年度(予算)
(A)	事業費(円)	9,860,000	9,860,000	9,503,000	9,503,000
(B)	概算職員数(人)	0.020	0.020	0.020	0.020
(C)	= (B) × (E) 人件費(円) ※自動計算	166,000	166,000	166,000	166,000
(D)	= (A) + (C) 総事業費(円) ※自動計算	10,026,000	10,026,000	9,669,000	9,669,000
単位当たりコスト ※自動計算		46,202.8	46,202.8	44,763.9	
財源内訳(円)	特定財源				
	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
一般財源 ※自動計算		10,026,000	10,026,000	9,669,000	9,669,000

#### 4. 事業の項目別評価(分析)

項目	判定基準	判定 ※一部自動判定	評価 ※自動判定
妥当性 (公費を投入して実施することが妥当な事業か)	公益性: 直接的である、間接的であると問わず、事業の実施による効果が不特定多数の人に広く及ぶ性質か	高 高	A
	必需性: 当該事業を実施しなければ町民生活に支障をきたすなど、必要不可欠なものであるか		
有効性 (基準年と比較して成果が上がっているか)	成果指標について平成23年度の目標を達成している	×	C
	基準年度と比較して成果が向上している	×	
効率性 (なるべく費用をかけずに成果を上げているか)	基準年度と比較して費用の縮減ができていない (判定基準) A 成果が向上している、費用も縮減している B 費用が増加しているが、費用の増加率よりも成果の向上率の方が高い C 成果が低下しているが、成果の低下率よりも費用の縮減率の方が高い D 成果が向上しているが、成果の向上率よりも費用の増加率の方が高い E 費用を縮減しているが、費用の縮減率よりも成果の低下率の方が高い F 費用が増加し、成果も低下している	向上率 成果 99.54%	B
		縮減率 費用 96.44%	
総合評価 ※自動判定		改善すべき点がある	

#### 5. 特記事項

平成23年度において、一律5%カットされている。消防団運営については、補助金だけの問題ではないが、消防団になりうる年齢層の人口減少・若年層の消防団に対する意識の変化に柔軟に対応する根本的な施策等を講じる必要があるため、団員確保検討委員会を開催予定である。

#### 6. 1次評価(担当課)

評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 改善して実施する	<input type="checkbox"/> 廃止
理由	消防組織法に基づき設置されており、地域の防災力には欠かすことはできない。		
今後の方向性	単に充足率を確保するだけでは、団活動は成り立たない。実災害に対応できる団員確保が必要で、今後の若年層の意識をどう変化させていくのかが大きな課題である		

#### 7. 2次評価(庁内行政評価委員会)

評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 改善して実施する	<input type="checkbox"/> 廃止
今後の方向性に係る意見等	ただし、消防団のみでの団員数増の取組みには限界があるため、町の取組みを強化する必要がある。		

#### 8. 外部評価(行政改革推進委員会)

評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 改善して実施する	<input type="checkbox"/> 廃止
今後の方向性に係る意見等	本事業は消防団の運営に必要な事業であると認められる。なお、今後は若年層の団員の確保に一層努めていただきたい。		

#### 9. 外部評価(実施のない場合は2次評価)を踏まえた対応案(担当課)

現状のまま引き続き事業を実施するほか、今後、中長期的に消防団員を確保していく必要があることから、今年度、新たに消防団経験者・町内在住女性・民間企業の方々を構成員に加え、愛川町消防団員確保対策検討委員会を開催する

#### 10. 町の最終方針(行政改革推進本部会議)

評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 改善して実施する	<input type="checkbox"/> 廃止
理由・改善方針	当面は現状のまま事業を継続しつつ、所管課の対応案のとおり、愛川町消防団員確保対策検討委員会での検討等を踏まえ、消防団員の確保に努めるものとする。		